

2023年度神奈川県病院協会事務長部会調査について

1 調査件名

二次救急病院輪番実施体制に対する市町村による支援等について

2 調査目的

持続可能な病院経営と地域医療体制の確保を図るため、今後実施される「医師の働き方改革」や、今般の物価・人件費の高騰といった県内保健医療を取り巻く厳しい状況に対応し、県内各地域での二次救急医療に対する市町村の支援内容について調査を実施した。

3 調査内容

(1) 二次救急病院輪番の概要

- ・実施体制（市町村単独、市町村合同 等）
- ・参加病院数、対象診療科
- ・市町村からの支援方法（補助、委託）

(2) 補助関係

- ・要綱の有無、事業開始年度
- ・市町村からの補助先（地区病院協会、地区医師会、直接病院等）
- ・補助金額の推移
- ・各病院への補助額の算定方法（平日夜間、休日等の単価等）

(3) 委託関係

- ・委託契約の有無、事業開始年度
- ・市町村からの委託先（地区病院協会、地区医師会、直接病院等）
- ・委託金額の推移
- ・各病院への委託額の算定方法（平日夜間、休日等の単価等）

(4) 新型コロナウイルス感染症蔓延期間における市町村支援の増減額の状況

(5) 最近の物価高騰・人件費増嵩における市町村支援の増減額の状況

(6) 「医師の働き方改革」後（2024年4月以降）の市町村による二次救急体制支援に対する市町村の現時点の考え方・意向及び市町村の考え方・意向に対する貴地区病院協会の対応

(7) 自由意見

※ この調査は各地区病院協会に対して実施したもので、直接各市町村に確認したものではないので、調査結果の取扱いにはご配慮お願いします。

2023年度 神奈川県病院協会事務長部会調査＜二次救急病院輪番実施体制に対する市町村による支援等について＞集計結果

(P1～P4) 調査項目1～4：輪番体制、5～9：補助関係

調査項目 地区 病院 協会名	市町村名	1 二次救急病院輪番実施体制 (該当項目に「○」)				2 二次救急輪番体制への参加病院数	3 二次救急輪番体制の対象診療科 (該当項目に「○」)				4 市町村からの支援方法 (該当項目に「○」)		5 補助要綱の有無(該当項目に「○」)		6 補助事業の開始年次	7 市町村等からの補助先 (該当項目に「○」)					8 補助金の推移(単位:千円)				9 各病院への補助額の算定方法 (具体的に記載してください。各区分ごとの単価のある場合は「円」単位で記載してください。)	単価				
		市町村単独	市町村合同	合同している市町村名	輪番実施なし	病院数	一般	小児	その他	その他の診療科名	補助	委託	有	無	開始年次	地区病院協会	地区医師会	直接病院	その他	その他の場合の補助先	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度		平日夜間	土曜日	日曜日・休日		
公益社団法人横浜市病院協会	横浜市	○				31	○	○			○	○		1,975			○				132,478	112,081	111,665	117,563	1) 体制確保費として(輪番1回あたり)、 内科・外科・・・150,000円 [年末年始加算] 62,600円 小児科・・・100,000円 [年末年始加算] 62,600円 ※内科・外科の輪番病院の体制確保費は、500万円を上限とする。 2) 救急患者受入実績に応じた奨励費(申請年の1月から12月の横浜市消防局による救急搬送人員に応じた補助) ・・・・1,000件以上 300万円 750件以上 200万円 500件以上 100万円 3) 輪番参加に伴う医師賠償責任保険料に係る経費(内科・外科) 42,000円 (小児科) 25,000円 ※二次救急拠点病院及び輪番病院(内科・外科)が小児科輪番に参加した場合、50,000円とする。					
川崎市病院協会	川崎市	○				24	○	○			○	○		1978	○						49,870	49,728	49,656	49,728	一般(外科内科)・小児ともに、市内を2地区に分け、各地区1病院を当番病院とする。 1回当たりの単価(補助要綱の額)を配布。 夜間輪番 17時～翌日9時 単価 休日・年末年始加算無 一般(内科・外科) 71,040 小児 141,460 小児開始年次 2002年 小児補助金の推移 2023年度 100,153 2022年度 99,870 2021年度 99,870 2020年度 99,870					

2023年度 神奈川県病院協会事務長部会調査＜二次救急病院輪番実施体制に対する市町村による支援等について＞集計結果

(P1～P4) 調査項目1～4：輪番体制、 5～9：補助関係

調査項目 地区 病院 協会名	市町村名	1 二次救急病院輪番実施体制 (該当項目に「○」)				2 二次救急輪番体制への参加病院数	3 二次救急輪番体制の対象診療科 (該当項目に「○」)				4 市町村からの支援方法 (該当項目に「○」)		5 補助要綱の有無(該当項目に「○」)		6 補助事業の開始年次	7 市町村等からの補助先 (該当項目に「○」)					8 補助金の推移(単位:千円)				9 各病院への補助額の算定方法 (具体的に記載してください。各区分ごとの単価のある場合は「円」単位で記載してください。)	単価					
		市町村単独	市町村合同	合同している市町村名	輪番実施なし	病院数	一般	小児	その他	その他の診療科名	補助	委託	有	無	開始年次	地区病院協会	地区医師会	直接病院	その他	その他の場合の補助先	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度		平日夜間	土曜日	日曜日・休日			
相模原市病院協会	相模原市	○				12		○	○	内科系、循環器系、消化器系、産婦人科、外科系	○	○		○	2009 ※相模原市医師会から当協会へ事業移管	○					240,355	238,682	239,016	239,517				【外科補助単価】 ・平日(17:00～翌9:00)561,330円 ・土曜日(13:00～翌9:00)685,980円 ・休日(9:00～翌9:00)834,840円 ・連休(9:00～翌9:00)1,043,370円 ・年末年始(9:00～翌9:00)1,519,830円			
三浦半島病院会	横須賀市	×	○	横須賀市・逗子市・三浦市・葉山町	×	9	○	○	×		○	×	○	×	1982	×	○	×	×	未定	26,329	26,089	24,896								
鎌倉市医師会病院会	鎌倉市	○	×		×	7	○	×	×		×	○																			

2023年度 神奈川県病院協会事務長部会調査＜二次救急病院輪番実施体制に対する市町村による支援等について＞集計結果

(P1~P4) 調査項目1~4：輪番体制、5~9：補助関係

調査項目 地区 病院 協会名	市町村名	1 二次救急病院輪番実施体制 (該当項目に「○」)				2 二次救急輪番体制への参加病院数	3 二次救急輪番体制の対象診療科 (該当項目に「○」)				4 市町村からの支援方法 (該当項目に「○」)		5 補助要綱の有無(該当項目に「○」)		6 補助事業の開始年次	7 市町村等からの補助先 (該当項目に「○」)					8 補助金の推移(単位:千円)				9 各病院への補助額の算定方法 (具体的に記載してください。各区分ごとの単価のある場合は「円」単位で記載してください。)	単価								
		市町村単独	市町村合同	合同している市町村名	輪番実施なし	病院数	一般	小児	その他	その他の診療科名	補助	委託	有	無	開始年次	地区病院協会	地区医師会	直接病院	その他	その他の場合の補助先	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度		平日夜間	土曜日	日曜日・休日						
湘南病院協会	藤沢市	○				11	○				○	○		1978		○					88,426	88,045	85,676	80,515	所定の当番枠の実施実績に応じ、半期ごとに集計して補助額を算定し医師会より各病院の指定口座へ振り込みを行う。 当番枠についてはあらかじめ定められたローテーションにより暦通りとし、12月30日～1月3日は年末年始期間として休日扱いとする。 各枠とも外科・内科各1箇所が当番にあたり、同一の病院が同日の内科と外科を兼務することも可。その場合は2か所分の補助額が算定される。	平日夜間 (20時～翌8時)単価 90,000円	土曜昼間 (13時～18時)単価 30,000円 土休日夜間 (18時～翌8時)単価 140,600円	休日昼間 (9時～18時)単価 50,000円 土休日夜間 (18時～翌8時)単価 140,600円						
湘南病院協会	茅ヶ崎市・寒川町				○																													
湘南西部病院協会	平塚市		○	平塚市・大磯町・二宮町		4			○	内科・外科	○	○		2006		○					19,137	32,814	29,980	28,649	単価×日数で計算。 連休時は別途連休加算あり。	92,300	168,900	168,900						
厚木病院協会	厚木市	×	○	厚木市、愛川町、清川村		4	○				○	○		?		○					57,755	57,282	57,338	57,282	補助金の分配の仕組み 第1当番の週1回あたりの金額 = 厚木市補助金総額 - (第2当番日数×3000円) / 6日(月～土) 週に2回、1.5回の第1当番をする病院はその割合で増加させる 第2当番の金額 日数×@3000円/回									

2023年度 神奈川県病院協会事務長部会調査＜二次救急病院輪番実施体制に対する市町村による支援等について＞集計結果

(P1～P4) 調査項目1～4：輪番体制、5～9：補助関係

調査項目 地区 病院 協会名	市町村名	1 二次救急病院輪番実施体制 (該当項目に「○」)				2 二次救急輪番体制への参加病院数	3 二次救急輪番体制の対象診療科 (該当項目に「○」)				4 市町村からの支援方法 (該当項目に「○」)		5 補助要綱の有無(該当項目に「○」)		6 補助事業の開始年次	7 市町村等からの補助先 (該当項目に「○」)					8 補助金の推移(単位:千円)				9 各病院への補助額の算定方法 (具体的に記載してください。各区分ごとの単価のある場合は「円」単位で記載してください。)	単価		
		市町村単独	市町村合同	合同している市町村名	輪番実施なし	病院数	一般	小児	その他	その他の診療科名	補助	委託	有	無	開始年次	地区病院協会	地区医師会	直接病院	その他	その他の場合の補助先	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度		平日夜間	土曜日	日曜日・休日
大和高座病院協会	大和市	○				5			○	成人内科のみ	○			○							6,946	6,969	5,989	6,902	平日・休日単科×輪番当番日数(年間) ※ この他に救急搬送受入れ補助(大和市民の搬送のみが対象)として、前年度受入れ実績に対して補助あり	89,100		110,900
大和高座病院協会	座間市		○	海老名市、座間市、綾瀬市、小児は、プラス大和市		6	○	○			○									13,570 上期のみ	31,270	31,040	27,200	・平日・土曜 18:00～翌08:00 ・日曜・祝日 08:00～翌08:00 ・応需の患者数により変動 ・2023年上期の算定例 平日:33回×18万円=594万円 土曜:10回×23万円=230万円 日祝:13回×41万円=533万円 計 1,357万円	180,000	230,000	410,000	
大和高座	海老名市	○	○	海老名市、座間市、綾瀬市、大和市(小児のみ)		3	○	○			○									32,642 上期のみ	67,491	67,350	72,106	・平日・土曜 18:00～翌8:00 ・日曜・祝日 8:00～翌8:00 この他に当番病院が患者多数などの理由により一時的に応需できない場合の予備当番の対価もあるが、応需した患者数により変動する。	180,000	180,000	360,000	
小田原医師会病院会	小田原市		○	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町		10	○				○		○	1982						52,628	101,528	101,128	102,628		100,000	100,000	200,000	

(P9～P12) 調査項目17～19：医師の働き方改革関係、自由意見

調査項目 地区 病院 協会名	市町村名	17 「医師の働き方改革」後(2024年4月以降)の市町村による二次救急体制支援に対する市町村の現時点の考え方・意向								18 17の市町村の考え方・意向に対する貴地区病院協会の対応			19 自由意見
		増額予定	具体的内容	増額を検討	具体的内容	減額予定	具体的内容	減額を検討	具体的内容	変更なし	要望済み	要望予定	
公益社団法人横浜市病院協会	横浜市									○	○		<p>今回の調査は、二次輪番体制にかかるものであるが、横浜市では、拠点病院(A・B)と輪番を併用した二次救急医療体制としており、小児も同様である。救急車の受け入れシェアは、拠点病院が85%、輪番が15%となっており、市の支援を考える場合、輪番だけではなく拠点病院に対する支援も考えなくてはならない。</p> <p>さらには、横浜市は今後も高齢者が増加し、救急医療需要も増加が見込まれるが、限られた医療資源で対応するためには、初期救急も含めた救急医療体制の構築、また救急受入病院の機能を確保するための後方搬送の仕組みの整備も必要と考える。</p> <p>横浜市病院協会では、医師の働き方改革の施行も踏まえて、令和6年度予算編成に向けて横浜市に対し①二次・三次のみならず一次救急も含めた持続可能な救急医療体制の構築、②それぞれの救急医療体制に応じた適切かつ十分な補助制度の整備、③近隣自治体からの患者受入状況を反映した補助制度の運用の見直しを要望しているが、市の対応は不明である。</p> <p>医師の働き方改革の影響について、横浜市が救急医療体制参加病院に対して独自調査を実施したが、結果を取りまとめ中であることから、今後結果を踏まえた検討がなされるものと考えている。この中で、上記の救急医療体制のあり方や、それに応じた市の支援策も検討・協議していきたいと考えている。</p> <p>要望③については、横浜市は補助要件として横浜市消防局からの搬送を基準としているが、市境に近い病院は他都市からの患者も受け入れているため、補助要件を満たさなくなることもあり得る。市としての考え方に一定の理解はするものの、市外であることを理由に救急要請を断ることはできないため、その運用の見直しを求めたものである。横浜市消防局が市外医療機関に搬送することも当然にある中で、管轄外からの患者受入をどのように考えるのかを求めている。</p> <p>それぞれの地区での医療体制、それを踏まえた救急医療体制も状況が異なると思われる。情報を共有しながら、より良いものにできればと考えている。</p>
川崎市病院協会	川崎市									○		○	

(P9～P12) 調査項目17～19：医師の働き方改革関係、自由意見

調査項目 地区 病院 協会名	市町村名	17 「医師の働き方改革」後(2024年4月以降)の市町村による二次救急体制支援に対する市町村の現時点の考え方・意向									18 17の市町村の考え方・意向に対する貴地区病院協会の対応			19 自由意見
		増額予定	具体的内容	増額を検討	具体的内容	減額予定	具体的内容	減額を検討	具体的内容	変更なし	要望済み	要望予定	特になし	
相模原市 病院協会	相模原市	×		×		×		×		○	×	×	○	
三浦半島 病院会	横須賀市									○			○	
鎌倉市医師会 病院会	鎌倉市	×		×		×		×		○	×	×	○	

(P9～P12) 調査項目17～19：医師の働き方改革関係、自由意見

調査項目 地区 病院 協会名	市町村名	17 「医師の働き方改革」後(2024年4月以降)の市町村による二次救急体制支援に対する市町村の現時点の考え方・意向									18 17の市町村の考え方・意向に対する貴地区病院協会の対応			19 自由意見	
		増額予定	具体的内容	増額を検討	具体的内容	減額予定	具体的内容	減額を検討	具体的内容	変更なし	要望済み	要望予定	特になし		
湘南病院協会	藤沢市														
湘南病院協会	茅ヶ崎市・寒川町														
湘南西部病院協会	平塚市														
厚木病院協会	厚木市									○	○				

(P9～P12) 調査項目17～19：医師の働き方改革関係、自由意見

調査項目 地区 病院 協会名	市町村名	17 「医師の働き方改革」後(2024年4月以降)の市町村による二次救急体制支援に対する市町村の現時点の考え方・意向									18 17の市町村の考え方・意向に対する貴地区病院協会の対応			19 自由意見
		増額予定	具体的内容	増額を検討	具体的内容	減額予定	具体的内容	減額を検討	具体的内容	変更なし	要望済み	要望予定	特になし	
大和高座病院協会	大和市									○	○			大和市に再三、物価高騰・水高熱費値上げによる医療機関経営の困窮を伝えてきたが、医療よりも福祉・小児・高齢者に対する補助金配分を重視するという市長方針とのことで、医療機関に対する市単独での支援には繋がっていない。また、来年度の輪番制について輪番を担当する市内5病院と行政・消防が集まる会議において、医師の働き方改革の影響で宿日直許可の範囲を超えての受入れや、輪番日以外の受入れについては厳しいとの意見や、従来通りの受入れを行政として要望されるのであれば、医師の増員などに係る費用増を行政にも支援してもらいたいとの意見を輪番病院側から意見を伝えたところであるが、結果として来年度輪番制に関する決定は先送りとなっている上に、市の財政が苦しいとの理由で住民健診等の委託金額も軒並み引き下げもしくは据え置く等の意向が示されている（健診受諾金額については医師会から、消耗品等を購入するにも値上げされている状況下で据え置くという行政の方針に反対の意向を伝えている）
大和高座病院協会	座間市													
大和高座	海老名市													
小田原医師会病院会	小田原市									○		○		